

2022年度第7回11月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2022年11月

2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、
意見・感想を返信してもらう形式で開催

3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	和久井要子
	委員	若井明香
	委員	佐子達仁

4. 議 題

(1) 朝ワイト ビタミンとちぎ内「レコバコ」 3週分
放送日 10/14 10/18 11/1 毎週火曜日 10:40～

(2) その他

5. 議事内容

(1) ビタミンとちぎ内 「レコバコ」

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：自然な音質、音の広がりや深みを感じたいと、近年人気が再燃したレコード。コロナ禍で、それはより顕著となった。その人気再燃に併せ、レコードの音を聴く番組をスタートさせる（2021年1月～）。レコード収集・愛聴家の細谷春貴氏を迎え、所有のレコードから季節やテーマに応じて選曲をする。邦楽洋楽問わずジャンルは

様々で、ロック、ポップス、ヒップホップ、R&B、ソウル、ジャズ、サントラと多岐にわたる。また普段、放送局であまりかかることのない曲をセレクトすることで、コアな音楽ファンやレコード好きのリスナーに楽しんでもらったり、お気に入りのレコードを見つけてもらったりする番組です。

各委員からは、

- 耳慣れない曲の連続だったが、なぜか昔懐かしく心地よく結構楽しめ、ついつい聴き入った。まさに心のビタミンを得た感じ。時折入ってくるパーソナリティーのナレーションはくどくなく、次々に興味が湧いてくる内容にも関心した。テレビで観るように既成の映像を押し付けられ振り回されることなく、自分の耳で想像ふくらませる音の世界を提供してくれるこのような番組企画は大いに結構なことだと賛辞をおくりたい。
- 懐かしい感じがし自然と耳に入り、職場で流れていれば集中できると感じた。曲紹介についても、曲を邪魔しない適度な解説で流れるような番組であると思いました。
- 毎回放送日に因んだテーマを設定し、そのテーマに沿って、様々なジャンルのあまり放送されない曲をリスナーに紹介しており、レコードによる音楽の良さを醸し出しているように感じた。午前中のひととき、放送を聞きながら、コーヒーなどを飲み、ゆったりとリラックスした時間を過ごすことにより、次の仕事に向かうための英気を養える格好の番組である。
- パーソナリティーの細谷春貴氏の静かな語り口は、音楽を愛する人らしく、リスナーにレコード音楽を楽しんでもらいたいという意味がよく伝わるものでした。企画意図が明確に表現されていた良い番組であると思います。レコードジャケットの話も興味深く、思わず探したくなるような内容でした。
- 日曜昼下がりのFMの長寿番組に似た番組。さまざまな手持ちレコードから選曲して紹介できる人材が県内にいて、そういう人を見つけて登場させているところがよいと思う。細谷さんは早口で、もっとゆっくりしゃべってほしい。流れる曲は多くの人知らない曲だと思うが、聴いて違和感のない良い選曲。だからこそ丁寧に説明してほしい。女性アナウンサーの相づちがやたら耳について。細谷さんが一人で話しきれるとよいのだろうが難しいか。「さまざまなジャンルの、しかも知らない曲を聞くなら、平日の朝ではないと思う。やはり土日の午後、または金曜土曜の夜か。枠が短いので曲も細切れだった感がある。番組として長く展開できそうな気がするだけに、改善の余地がいろいろあると思う。埋もれたよい曲を教えてくれるのがラジオのよさ。楽しみにしています。
- 音源だけ聞くと、FM番組のようでした。レコードから流れる音の違いを楽しみました。細谷さんが選ぶテーマに沿った音楽をゆっくり聴けて15分ではも

ったいないくらい心地いい番組だと感じました。せっかく Twitter と繋がっているのであれば、番組内で告知をしたほうが認知度アップにつながるのでは、と思いました。Twitter も拝見しましたが、ジャケット写真もいいですね。

- 番組の意図についてレコード人気再燃に併せた番組、ということで、興味深く聴くことができたが、ラジオでこれをやる意味をどう捉えたらよいのか、疑問がわいた。①レコードの音質を楽しんでもらう。②レコードでしか聴けない楽曲を楽しんでもらう。③パーソナリティ（細谷春貴さん）にお気に入りの曲を紹介してもらおうが考えられると思う。①はCDではカットされている低音域、高音域の音が含まれていると言われるレコードの特徴がラジオで再現できるのか、かなり難しそうに思える。②はCD化されていない楽曲でよいものを聴いてもらうという意味がある。③はパーソナリティをメインに据えた番組ということになり、その場合、一人で直接、聴取者に語りかける形の方がよいと思われる。レコードジャケットにも着目したりしているので、レコードにこだわった番組にしたいということは間違いないと思うのだが、なぜレコードなのか、レコードの何が、どこがいいのか、どこを聴いてもらいたいのかなど、もう少しレコードへのこだわりを伝えてほしいと思った。番組の構成について1曲にかける時間が3分程度と長く、じっくり聴くことができ良かったが、すべて、曲が流れ始まって2～3分過ぎてから曲名、演奏者名などの解説ナレーションが入る形となっており、聴取者は誰のなんという曲かわからずに付き合いされている感じがした。先に曲名紹介程度のナレーションが入った方が、聴いている人の興味関心につながるのではないかと思った。
- 最近の曲調と異なるレコード時代ならではの音楽を楽しむことができる番組だと評価した。時間に対する感覚が、レコード時代より急速に早まっている現代において安らげるひと時を提供できるように思う。ただ、放送時間帯が午前中なので、コンテンツとしては、夕方から夜のほうがよい曲が多かったようにも感じた。
- レコード人気再燃しているときいていますので企画としてはよろしいかと思えます。レコードの音は新鮮な印象を受けます。時間帯が10:40～ということでもありますから、ターゲットはビジネスマンというよりもリタイヤされて自分の時間を自由に使うことのできる世代層でしょうか。素敵な番組ですが、音楽の印象としては、遅めの時間帯に心地よくききたいとも思いました。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(2022年12月25日)
- ② 当社のホームページに掲載(2022年12月23日)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2022年12月23日～)

以上